

## 事後評価結果（平成18年度）

担 当 課：草津市産業建設部道路課  
担当課長名：鈴川 昭二

事業名	大江霊仙寺線（平井区）	事業区分	街路	事業主体	草津市
起終点	自：滋賀県草津市平井四丁目字七ノ坪126-3 至：滋賀県草津市平井六丁目字堅宗伯405-25	延長	0.54 km		

**事業概要**：都市計画道路大江霊仙寺線は、草津市平井六丁目を起点とする延長7,260mであり、栗東市・守山市との都市間連携を形成するネットワーク路線である。新規事業着工区間は上記延長の内、780mを新たに整備するものである。

**事業の目的・必要性**：大江霊仙寺線は、主要地方道大津能登川長浜線、大津湖南幹線のバイパス的役割を持たせることにより、交通の円滑化を図ると共に、草津市北部・栗東市・守山市方面から草津駅西口地域へのアクセス道路として整備することにより地域の発展に資することを目的として計画整備するものである。



<b>事業の 効果等</b>	事業期間	事業化年度	用地着手	供用年	変動	1.3倍	
		H11年度	H11年度	(当初)・/H17/3			
	事業費	計画時 (暫定/完成)	都市計画決定	工事着手	(暫定/完成)	(実績)・/H18/9	1.05倍
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)	(名目値)・/21億円 (実質値)・/-	実績 (暫定/完成)	(名目値)・/22億円 (実質値)・/-		118%
	旅行速度向上	24.1	29.0	交通事故減少	-	件/億台年	
	(供用前現道 当該路線)	(供用直前年次) 17年度	(供用後年次) 18年度	(供用前現道 供用後現道)	(供用直前年次) 年度	(供用後年次) 年度	
	費用便益 分析結果 (当初)	B/C	総費用	総便益	基準年	年	
		-	- 億円 (事業費: 億円 維持管理費: 億円)	- 億円 (走行時間短縮便益: 億円 走行経費減少便益: 億円 交通事故減少便益: 億円)	-	-	
	費用便益 分析結果 (事後)	B/C	総費用	総便益	基準年	年	
		4.4	26億円 (事業費: 26億円 維持管理費: 0.15億円)	115億円 (走行時間短縮便益: 117億円 走行経費減少便益: 0.49億円 交通事故減少便益: -2.3億円)	平成18年		
	事業遅延によるコスト増		費用増加額	便益減少額			
			- 億円	- 億円			
	事業遅延の理由						
	用地取得の難航						
	客観的評価指標に対応する事後評価項目						
	住宅地等の狭わいな道路へ流入していた通過交通車両の減少						
	その他評価すべきと判断した項目						
	特になし						
<b>事業</b>	環境影響評価に対応する項目						
	特になし						

による環境変化	
	その他評価すべきと判断した項目 特になし
	事業を巡る社会経済情勢等の変化 特になし
	今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 費用便益比および道路の整備効果(集中する地区内交通の分散化)は現れていると考えられる。ただし、本検討は供用1ヶ月後に事後の交通量調査を行っているため、2、3年後に再度調査を行うことにより、事業効果の発現状況を再度確認することが必要になると考えられる。
	計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 特になし
特記事項	

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものを。

費用便益は栗東市の共用区間を含む全1.3kmで算出。